

浜松医科大学臨床検査専門研修プログラム (浜松医科大学医学部附属病院)

1 はじめに

浜松医科大学臨床検査専門研修プログラムには、初期研修修了後そのまま臨床検査専門医の道を歩む方のためのプログラム制と、他の基本領域専門医取得後にセカンドキャリアとして臨床検査専門医を目指す方などのためのカリキュラム制（単位制）が用意されています。あらゆるバックグラウンドの方がそれぞれに描くキャリアプランに合わせて参加できる教育プログラムを提供いたします。

プログラム統括責任者 浜松医科大学医学部附属病院検査部長・准教授 岩泉守哉

2 目的

臨床検査の基礎医学的背景、方法論、臨床的意義を十分に理解し、それを元に医師をはじめ他の医療従事者と協力して適正な医療の実践に役立てます。また、臨床検査医学、臨床医学全般に関わる科学者として、診療だけでなく研究にも参画できる基本的な能力を習得します。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

浜松医科大学医学部附属病院

(2) 専門研修連携施設

聖隷浜松病院

静岡赤十字病院

4 専攻医受入数

1名

5 研修期間

3年（プログラム制）

3年以上、10年以下（カリキュラム制）

6 研修計画

プログラム制

臨床検査研修プログラム整備基準に従い、以下の基本7科目の研修を行います。基幹施設である浜松医科大学医学部附属病院の他、連携施設（聖隷浜松病院、静岡赤十字病院）で原則3ヵ月間以上研修を行います。以下のように基本検査科目ごとに独立し集中して研修し、ローテーションします。その順序は原則自由です。

- ① 臨床検査医学総論：2～4ヶ月
- ② 一般臨床検査学・臨床化学：4～6ヶ月
- ③ 臨床血液学：4～7ヶ月
- ④ 臨床微生物学：4～7ヶ月
- ⑤ 臨床免疫学・輸血学：2～4ヶ月
- ⑥ 遺伝子関連検査学：1～2ヶ月
- ⑦ 臨床生理学：2～6ヶ月

各年の習熟目標としては、検査報告書の作成を例にすると、1年目は指導医の点検を必要とするレベルから、2、3年目には指導医の点検を必要としないレベルを目指します。Reversed Clinico-Pathological Conference (RCPC) は全期間を通して行います。また研究などの学術的活動も1年目終了後に随時行うことができます。

各基本科目の施設内での研修は以下のように行います。

- ① 病院検査部門で臨床検査技師の助力のもとに各種検査を経験、見学する。
- ② 病院検査部門で指導医の指導のもとで各種検査の結果を判定し、報告書を作成する。
- ③ 病院検査部門で指導医の指導のもとで各種コンサルテーションに応え記録を作成する。
- ④ 検査部門のカンファレンスに参加する。
- ⑤ 指導医と上級臨床検査技師の監督のもとに臨床検査技師実習学生の教育を実践することにより学習する。

研修の修了が認定されたら臨床検査専門医認定試験の受験資格が与えられ、臨床検査専門医認定試験に合格すると臨床検査専門医となります。

カリキュラム制（単位制）

上記のプログラム制の他に、臨床検査専門医を目指す道として、他領域で経験を積んだ後に当該専門領域のキャリアを踏まえて、より検査診断に特化した力量と資質の習得を目指すカリキュラム制研修システムも設けています。カリキュラム制とは、研修の形態の詳細は問わず、到達目標を達成すれば認定試験受験資格を与えるものです。

カリキュラム制（単位制）による研修制度の対象となる医師は以下のとおりです。

- 1) 義務年限を有する医科大学卒業生、地域医療従事者（地域枠医師等）

→ただし浜松医科大学臨床検査専門研修プログラム(カリキュラム制)に参加される場合、他基本領域の専門研修を修了した方に限ります。

- 2) 出産、育児、介護、療養等のライフイベントにより、休職・離職を選択する者
- 3) 海外・国内留学する者
- 4) 他科基本領域の専門研修を修了してから臨床検査領域の専門研修を開始・再開する者
- 5) 臨床研究医コースの者
- 6) その他、学会と機構が定めた合理的な理由がある場合

臨床検査専門医取得後のキャリアプラン

こちらをご参考ください【新たなるキャリア臨床検査医！】

<https://www.jslm.org/recognition/purpose/jslm.pdf>

7 問い合わせ先

浜松医科大学医学部附属病院検査部長・准教授 岩泉守哉

e-mail: iwaizumi@hama-med.ac.jp